

# 東北大学医学部保健学科 同窓会新聞

発行人 大森純子  
 発行所 東北大学医学部保健学科  
 仙台市青葉区星陵2の1  
 東北大学医学部保健学科  
 同窓会新聞編集委員会  
 編集委員 熊坂和矩、遠藤美芽、  
 武石陽子

## ご退任される先生のご挨拶

令和2年度をもって、放射線技術科学専攻から、齋藤春夫先生がご退職されることとなりました。齋藤先生にご挨拶を頂戴しましたので、ご紹介いたします。

### 画像解析学分野 教授 齋藤 春夫 先生

2021年3月末をもって東北大学を退職します。2007年4月から14年間お世話になりました。



赴任前は、宮城県立成人病センター(現、宮城がんセンター)、東北大学病院、国立循環器病センター、仙台医療センターなどで放射線科医として診療、研究を行っておりました。医学科で講義、実習を担当しておりましたが、保健学科では講義が本業でした。初期

## 新任の先生のご挨拶

今年度に入り、新たに3名の先生が本学科に就任されました。ご挨拶を頂戴しましたので、ご紹介いたします。

### がん看護学分野 助教 佐々木 康之輔 先生

の2〜3年は自転車操業で、講義とその準備に明け暮れました。学生諸君にはとりとめのない講義にお付き合いいただき有り難うございました。2009年からは保健学科に設置されたCTを用い、法医学領域の死後画像診断を開始しました。「溺水」、「低体温症」による死亡などで特徴的な画像所見を見いだし、2014年に教科書「舟山真人、齋藤春夫編 「A iはどこまで事実を迫るか」 医歯薬出版」を発刊することもできました。振り返ると、多くの師匠、先輩、同僚に恵まれました。教授就任後は、学生に「自分の人生は、自分の責任で生きる」ことを伝えてきたつもりです。ご指導いただいた先生方、一緒に診療・研究していただいた先生方、学部生、大学院生に感謝いたします。東北大学保健学科のますますの発展を祈念しております。



2020年5月よりがん看護学分野の助教として着任いたしました。佐々木康之輔と申します。私は、本学看護学専攻を卒業し、修士課程へ進学した後、東北大学病院で勤務し、その後博士課程へと進みました。博士課程在学中に東北大学病院心臓血管外科でClinical research coordinatorとして働いたことをきっかけに、修了後も心臓血管外科学分野で助教として勤務し、臨床および臨床研究、そして新規デバイス開発について多くの経験をさせていただきました。急性期病棟で看護師として働いた時から補助人工心臓治療や心移植医療にも携わってきたことも踏まえると、心臓血管外科領域にどっぶ

りつかっています。その中で、私が見る置く自律神経系からみたケアの科学的評価も健康者から患者さんにシフトしました。健康者だけでなく、患者さんにおいても極端に偏った自律神経のバランス状態は、興味深いことに、生命予後の悪化や有害事象発生に繋がっています。

さて、この新たなフィールドでは、研究ももちろん、学生ひとりひとりの成長を促せるよう、自身も一歩一歩成長し、頑張っていく所存です。また、心臓血管外科領域含め、大変お世話になった臨床へも恩返ししたいです。至らない点が多いと存じますが、ご指導・鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 公衆衛生看護学分野 助教 藤崎 万裕 先生



令和2年4月に公衆衛生看護学分野の助教に着任いたしました。東北大学では、学生の皆さんと共に学べることで、大学院保健師教育に携われること、社会的包摂を基盤とした公衆衛生看護学分野の研究プロジェクトに参画できることを日々愉しみ、自己の成長も日々実感しながら過ごさせていただいております。

前職は、東京大学高齢社会総合研究機構で、医学、工学、法学、

教育学、人文社会学等といった多様な研究科の大学院生や教員と「活力ある高齢社会の実現」に向けて、諸学問の追及と社会への実装に奔走して参りました。フレイル予防の普及や産官学民協働事業の効果実証において体得した、エビデンスに基づく応用研究やアクションリサーチの手法は、「研究第一主義」・「実学尊重」の東北大学でも活かしていきたいと考えています。

教育が人生の幸福を目的とするならば、学校教育は「ケアリング」を中心に再構成されるべき!として、教育は大転換の局面を迎えています。ケアを学び教えることのできる人は、今後全世界で必要とされます。個人においても「門戸開放」の理念を持ち、いま学んでいること・教えていることが、社会にどのよう貢献できるか一緒に考えていきましょう!

### ウイメンズヘルス・周産期看護学分野 助教 川尻 舞衣子 先生



2020年4月にウイメンズヘルス・周産期看護学分野に着任しました川尻と申します。本学の3期生として卒業し、東北大学病院で助産師として臨床経験を積んだのち、東北大学で学位を取得しました。修士、博士の研究では、妊娠期の身体活動をテーマとして、ウェアラブル機器やアプリを活用

した保健指導の開発に取り組んでまいりました。

正直に言うと、大学院修了後に研究者としてのキャリアに踏み出すことには、少し迷いがありました。大学院で学んだことを生かして、臨床の助産師として再び働いてみたかったからです。でも、私の研究はまだ何も臨床に還元できておらず、得られたのは「もっとこうすればよかった」という反省と、次の段階に進むための課題でした。協力してくださった妊婦さんや、臨床スタッフの皆様のご恩に報いるために、反省と課題に向き合い、研究を進展させることが、自分の務めだと思っております。

この一年、学生時代にお世話になった先生方や同期・先輩に支えていただきながら、後輩の教育に携わり、とても充実した日々でした。役割に全力で取り組み、母校の発展に尽くしたいと思っております。どうぞご指導・鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 2020年度 オープンキャンパス

2020年度東北大学オープンキャンパスは、新型コロナウイルスの影響のため、オンラインでの開催となりました。実行委員よりオープンキャンパスの準備や感想をお伺いしましたので、ご紹介いたします。

### 実行委員 看護学専攻4年 根来 怜菜 千葉 眞子

今年度オンライン開催となった医学部・医学系研究科オープンキャンパスでは、本学部・研究科を志望する方を主な対象とし、専攻ごとに教育や研究内容、大学生活について紹介しました。看護学専攻

では例年の企画を一部変更し、座談会、ツアー動画、模擬講義、クイズラリーなど、様々なコンテンツをアップしました。



座談会企画では、例年行っていた高校生の質問に学生が直接答える相談コーナーの代わりに、高校生からよく挙がる質問について看護専攻の学生が話し合いました。テーマは東北大学の魅力、学生生活、受験、サークル・アルバイト、そして、男子学生と卒業生による男子看護学生の生活についての5つがありました。今年度は高校生の質問に直接答える機会がなくなってしまう学生の雰囲気を感じてもらうことが難しいのではないかと感じていましたが、各学生が様々な考えや経験を披露してくれたため、受験生だけでなく低学年の方にも参考になるような内容を伝えられたと思います。



ツアー企画では例年の施設の紹介に加え、普段の生活や実習の様子

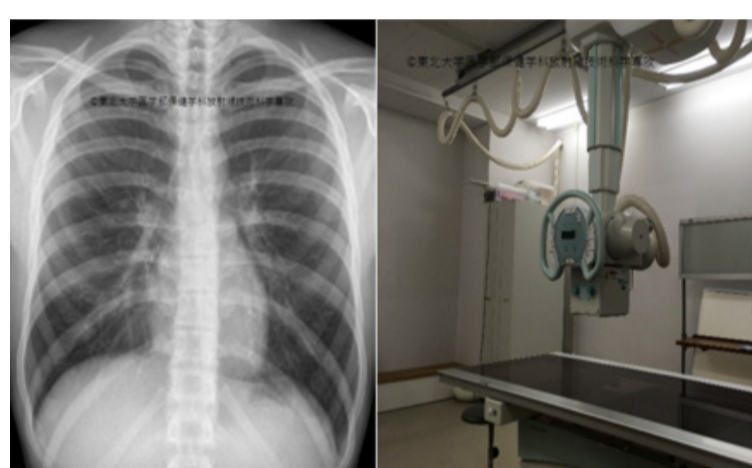
子、学校の雰囲気やイメージしてもらうために、看護学生のある1日をテーマとして紹介動画を作成しました。保健学科棟全体を使い、講義形式の授業やほとんど全ての領域の演習の様子、研究室についても扱ったため、見応えのある内容になったと思います。また、昼食や移動中の4年生ボランティアの皆さんの仲の良い様子から学生生活の雰囲気が伝わり、共に学びたいと考えてくれる高校生がいたならば、これ以上嬉しいことはありません。



例年とは違う形での企画運営となり大変な面もありましたが、先生方やボランティアの方にもご協力いただき、オンラインでの伝え方の工夫について考え、来年度以降の企画にも繋がる良い機会になりました。



たと思っています。最後になりましたが、オープンキャンパス運営のために学生、卒業生、教員、教務係職員の皆様にご尽力いただいたことにつきまして、この場をお借りして心より御礼申し上げます。



### ウェアセレモニー

今年度は、令和2年7月6日に看護学専攻、9月17日に放射線技術科学専攻、9月14日に検査技術科学専攻のウェアセレモニーが行われました。代表を務めました学生さん方の決意表明の言葉を紹介いたします。

#### 看護学専攻3年

安澤 冨

本日のウェアセレモニーにあたり、15期生を代表して決意表明をいたします。10月から始まる領域別実習に先立ち、本日から基礎看護学実習が始まります。今年度は新型コロナウイルスの影響により、世界中で多くの方々

られました。また、それらの影響により、本学では授業が延期されるなど異例の事態となっております。私はこの事態を受け、より一層看護師として世に貢献したいと改めて感じました。



私はこの大学で過ごしてきた2年半で、コミュニケーションをとるといことはとても難しいことだと感じました。私はこの基礎看護学実習、そして10月から開始予定の領域別看護学実習では、特に患者の気持ちを理解し、それに寄り添うためのコミュニケーションをとることができるよう頑張りたいたいと考えています。患者は自分の病や人生に対する思いだけではなく、家族や周りに対しても様々な感情を抱いています。また、それらは患者一人一人によって異なるため、援助方法も、その援助を行う際にも様々な働きかけが必要になってくると思います。私は患者一人一人の考え方や感情に寄り添い、それらの人々が退院後の生活を少しでも有意義に過ごすことができたり、人生を全うできるように援助したいと考えています。

これから基礎看護学実習、そしてその後には本格的な領域別の専門看護学実習が始まりますが、自分の看護像をしっかりと持ち、そして患者の入院生活の援助を目的とするだけでなく、退院後の生活を送ることができるよう援助技術を身に着けたいと考えています。



#### 放射線技術科学専攻3年

戸塚 凌太

本日は、このような式典を開催していただき、ありがとうございます。代表して御礼申し上げます。今回の式典はオンラインという形となり、仲間達と肩を並べることができないことに不安もありますが、それ以上に実習に参加できることに大きな喜びを感じております。



担当の患者を受け持たせてもらう経験は初めてで不安もありますが、これまでの学びを生かして頑張りたいと思います。



さて、臨地実習が始まるにあたりまして、最も心がけたいことがあります。それは「感謝の気持ちを持つ」ということです。現在、新型コロナウイルスにより厳しい状況が続いております。その中で、東北大学病院や市中病院の方々、諸先生方、並びに医学部学生後援会の皆さまのご尽力で、多忙な業務の間を割いて実習を受け入れていただくこととなります。多くの方のお力により実習に参加することができると感謝の気持ちを

最後にありますが、放射線技術科学専攻の学生として熱意を持って実習に取り組み、お世話になった先生方に成長した姿を見せられるよう努力していくことをここに

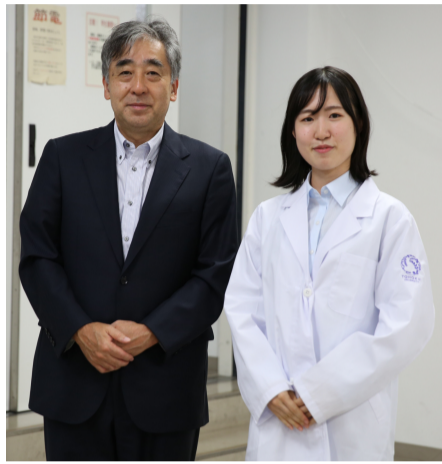


また、新型コロナウイルスの流行下において、普段の生活から感染予防へ最大限の配慮が必要です。お世話になる医療従事者の方々、また患者の方々の安全を担保するためにも、感染拡大防止に努めることが大切だと考えております。



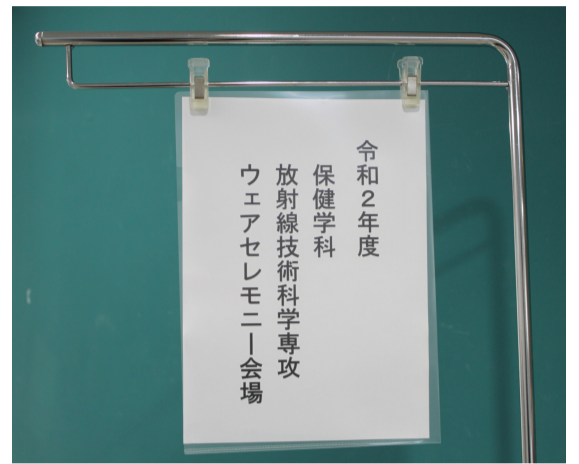
持ち、一つでも多くのことを学んでいくということが、何より大切だと考えております。

まず一つ目は、医療従事者としての自覚をもつことです。私たちは、病院を利用される方から病院のスタッフさんと同じ医療従事者として見られてしまいます。医療従事者の一員として恥じぬよう行動していきます。



本日は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い様々な学校行事が中止されている中、このような式典を開催して頂きありがとうございます。先生方、関係者の皆様にご挨拶申し上げます。先生方、関係者の皆様から迎える臨地実習に向けての決意表明をします。

### 検査技術科学専攻3年 小山 紗奈



誓い、決意表明とさせていただきます。



最後に常に感謝の気持ちを持って行動することです。新型コロナウイルス感染症の影響で病院業務はより一層の多忙を極めている中、東北大学病院や市中病院の皆様は、私たちの臨地実習を受け入れてくださることにになりました。これは先生方および学校関係者の皆様のご尽力の賜物です。このような状況でも臨地実習をさせていただけることに感謝し臨地実習に取り組んでいきます。



指し、探求心を持って全ての物事に取り組み知見を広げていきます。

令和2年12月23日(水)に、2020年度(14期生)看護学専攻卒業研究発表会が開催されました。今年度は、感染予防対策のために、初のオンラインでの開催

- 看護学専攻 教務会**
- 清水 恵 先生
  - 丹野 寛大 先生
  - 藤崎 万裕 先生
  - 佐藤 富美子 先生
  - 宮下 光令 先生

令和2年度の卒業研究発表会が行われました。各専攻の担当教員よりご報告を承りましたので、ご紹介いたします。

### 卒業研究発表会



これらの思いを持って臨地実習に取り組み、今まで講義でお世話になった先生方に、臨地実習後に成長した姿をお見せすることを誓い決意表明と致します。

今年度の発表は、看護アセスメント学分野が12題、成人看護学分野が2題、がん看護学分野が1題、緩和ケア看護学分野が7題、小児看護学分野が5題、精神看護学分野が4題、公衆衛生看護学分野が14題、看護管理学分野が6題、老年・在宅看護学分野が3題、ウイメンズヘルス・周産期看護学分野が12題、医学科へ委託による研究が3題でした。例年と比べ表となっていました。

**腹圧性尿失禁**

咳やくしゃみなど急激な腹圧上昇によって生じる尿失禁 (国際禁制学会用語基準 2020)

○腹圧性尿失禁の原因

妊娠時 分娩 骨盤底への荷重負荷 骨盤底の伸展 骨盤底が損傷することによって発症する

となりました。当日は、English発表2題を含む69題の研究が発表されました。14期生は、卒業研究の期間がおよそ2年間に延長された初めての学年です。学生は、2年生の冬に、自身の関心事にあった研究室に配属されたあと、各研究室員とともに、研究分野についての知識を深め、研究方法を学びながら、卒業研究に取り組みました。

令和2年11月24日(火)に、星陵オーデトリウム行動にて、保健学科放射線技術学専攻卒業研究発表会が開催されました。本年度は、コロナ禍というきわめて実施が難しい中でしたが、大学での学習の集大成となる卒研の発表会を会場実施するために、感染リスク低減のために創意と工夫をこらして、教員と学生が一丸となり実



### 画像診断学分野 教授 植田 琢也 先生

画面を通したやりとりではうまくコミュニケーションが取れないのではという不安があったのですが、当日は、多くの発表で活発な質疑応答がなされていました。その内容も、例年以上に、質の高いものであったと感じました。2年間で、看護研究について多くを学ぶとともに、研究テーマをより自分のものとしてしっかりと理解して研究に取り組むことができたのではないのでしょうか。コロナ禍という不測の状況下で、思うように研究を進められなかった学生も多くいたかと思いますが、最後まで真摯に研究と向き合い、卒業論文を完成できたことは素晴らしいと思います。是非学会発表や論文文化を目指していただきたいと思います。

施にこぎ着けたことでひととき感慨深い卒研となりました。本専攻7分野とサイクロトロンRIセンサー(CYRIC)に配属された37名が発表を行いました。本年度は、「人工知能を用いた画像診断」「各種画像診断機器における画質の検討」「放射線被ばくの検討」「がん放射線治療技術」「がん・動脈疾患における血管新生の解析」「死亡時画像診断」など多岐にわたる研究領域にわたる項目について発表がなされました。このような多岐にわたる報告について、専門外の学生・教員にもわかりやすく、基礎から最先端の知識を網羅したプレゼンテーションを行う学生をみて、各々が4年間の学生生活で習得した道のりを示してもらったように感じました。今後、病院・企業・研究室とそれぞれの道を歩んでゆくとおもいますが、彼らの今後の人生にとって得がたい経験が得られたものだと確信しております。最後に本年の研究においても極めて困難な状況の中、学生達を導き素晴らしい研究成果にまとめあげた各分野の教



員のご尽力に心から感謝申し上げます。

**分子内分泌学 教授  
菅原 明 先生**

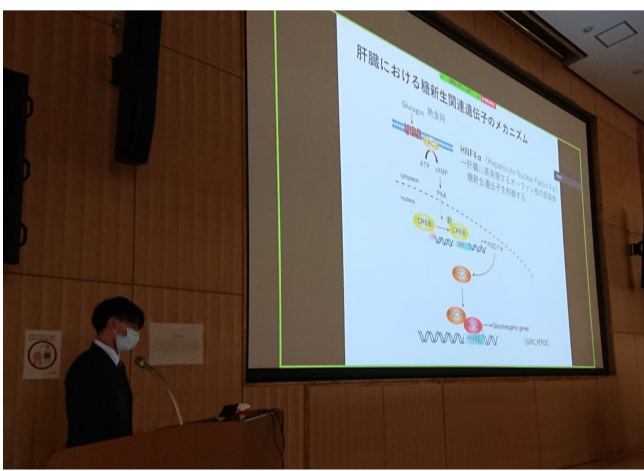


東北大学医学部保健学科 検査技術科学専攻4年生の卒業研究発表会は、令和2年11月12日に東北大学医学部構内の星陵オーデイトリウムにおいて、感染対策・ソーシャルディスタンスを十分に取った上で開催されました。計35題の発表が午前9時から午後4時半まで行われました。4年生は会場にご参集頂きましたが、2年生・



3年生はWebにてご参加頂きました。令和2年度の卒業研究は、新型コロナウイルス感染症のため6月からの開始となり期間が2か月ほど短縮になりましたが、皆さん非常に素晴らしい発表内容であった

ことに加え、質疑も大変活発に行われ、期間の短縮を微塵も感じさせない活気に溢れた発表会でした。4年生の皆さんの今後の進路は、病院、企業、大学院など様々と思いますが、卒業研究で学んだことを今後の仕事・研究に生かして、是非頑張ってくださいと思います。



**人事異動**

令和2年度に行われた人事異動

についてご報告いたします。

- 画像解析学分野  
教授 齋藤 春夫先生  
退職(令和3年3月31日)
- 感染分子病態解析学分野  
准教授 石井 恵子先生  
退職(令和3年3月31日)
- 老年・在宅看護学分野  
助教 安藤 千晶先生  
退職(令和3年3月31日)  
異動先…北海道名寄市立大学  
准教授
- 精神看護学分野  
助教 光永 憲香先生  
退職(令和3年3月31日)
- 精神看護学分野  
助教 小林 奈津子先生  
異動先…精神神経学分野 助教



**編集後記**

令和2年度の同窓会新聞も、ご協力いただいた皆様ののおかげで、無事に発行することができました。

年度末及び新型コロナウイルスによる対応でお忙しい時期であったにも関わらず、寄稿してくださいました先生方、学生の皆さん、また写真を提供してくださった一條様はじめ医学部広報室の皆様、本当にありがとうございました。



また、この度晴れて卒業を迎えられる学生の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様の新しい門出に幸多からんことを祈っております。さて、今年度は新型コロナウイ

ルスの影響で、いわゆる「おうち時間」が増えました。皆様は自宅でもどのおうち時間ですか？私は、この「おうち時間」でテレビを観る時間が増えました。私は今まで、家に帰ったらネットサーフィンをして寝るだけで、テレビを観る時間がほとんどありませんでした。しかし、今回「おうち時間」を活用してテレビを観る時間が増えたことで、人と楽しく会話する術を学ぶことができました。パラエティー番組では冗談を交えた会話術、ニュース番組では相手にわかりやすく伝える会話術を知ることができました。そのおかげで、以前よりも相手とのコミュニケーションがより良いものになったと思います。



皆さんも「おうち時間」が増えたことで新しい発見、気づいたことがあったと思います。中には、普段気にしていなかったけど大事なこと、自分の意外な一面に出会った人もいるでしょう。もしかすると、あなたの人生を豊かにするものは、あなたのすぐそばにあるかもしれません。皆様の「おうち時間」が有意義なものになることを願っております。

それでは、風邪をひかないようにお体に気を付けてお過ごしください。

医学系研究科保健学専攻  
博士前期課程  
熊坂和矩、遠藤美芽